



地域懇談会で警察側への要望を伝えました

ゆり北

第227号 (21期第3号)

発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

TEL03 (3977) 0228番

発行責任者 塩 原 継 雄

八月最後の土、日は

ゆり北夏まつりで決まり

自治会・商店会二〇周年記念のビンゴ大会で豪華賞品を当てよう



八月最後の土曜、日曜日である三〇、三十一日にはゆり北夏まつりを開催します。皆様方のおかげで、この地域になくはない夏まつりに定着してきました。特に今年は、自治会・商店会二〇周年の年でもあり、特別企画を予定しています。

また、先月号でお知らせしましたが、ボランティア、模擬店出店、フリーマーケット参加、ステージ出演を募集しています。皆様も、見る側、買う側から、まつりスタッフ、ステージ出演、或いは売る側に合わせてみませんか。きっと、まつりを満喫出来ると思います。皆様も参加して一緒にまつりを盛り上げ、大いに楽しんでみませんか。

地域の子どもを守るうつ

家庭、学校、地域が協力して

自治会では五年前より少年・少女を被害者・加害者として巻き込まれる事件の発生を防止するために、情報交換の重要性を踏まえ、高島平警察署から係官を招いて、中学校、小学校、保育園、児童館、住宅管理組合などの関係者による地域懇談会を開催してきました。

本年も、去る六月二十八日(上)に赤塚新町小学校大会議室で開催しました。このところ板橋区内では事件が多く、特に近くの川越街道の中古ゲームソフト販売店及びハンバーガー店への強盗事件には、殆どの出席者から質問や要望が出されました。例えば、学校・保育園・児童館等

の公共施設には事件が伝えられて対策をとるように連絡があったが、公園や道にいる子どもや親子連れに対して何ら事件が伝えられていない現実、引率してわかった集団下校時の安全確保の難しさ、団地内商店への事件伝達の必要性、防災無線を活用した近隣住民への緊急放送の可能性などです。それについて高島平警察から事情説明がありました。特に広報については、事件防止の観点から重要であり、通常パトロールカーが行っているとのことでしたが、今回なぜ伝えられなかったかについては、明確な回答がありませんでした。次に、本年始めに表札につけられ

た小丸のシールが話題となりましたが、警察の調査では、犯罪との明確な関連性はわからなかったとのこと。但し、鍵穴の横に小さなテープが貼られていたら、絶対に家には入らず、すぐに一〇番通報して欲しいとのこと。テープは、鍵を外す道具を通すための穴を隠す目的に貼ってあるとのこと。

また、最近少年の中ではやっているカードゲームについては、公園等で恐喝や窃盗などの犯罪があり、警察としては、不特定多数の人が来る場所ではカードゲームは行なわないように、要望しているとのこと。その他、自転車のかごに入れたバックなどの引っかけり予防には、防止ネットが無い場合には、バックの上に雑誌を置いて紐をつかめないようにする方法が紹介されました。



最後に、子ども達は団地内の植込の中、建物の隙間、手摺りや柵の上など、危ない場所に行くこともあり大人として、どう導くべきか考えさせられました。また、植込等は死角ともなり、それによる犯罪も心配されるので、安全と緑について課題が残りました。

夏休みは、特に子供達に係わる犯罪が増える時期です。みなで注意をして、誰もが安心して安全に暮らせる地域にしていきたいと思います。

ステージ

ニューサウンド(バンド演奏)
小野上温泉太鼓(太鼓演奏)
ビンゴ大会
ティーチャーズ&バトンクラブ(新町小)

お楽しみコーナー

フワフワドーム・綿菓子・ミニゲートボール
金魚すくい・スーパーボール

模擬店

生ビール・焼とうもろこし・チョコバナナ
餅の磯辺焼き・焼きそば・焼き鳥
フランクフルト・ラムネ・かき氷
ポップコーン・すいとん・煮卵

小野上村物産コーナー

30、31両日朝11時頃開店
場所 13号棟ピロティ

古本バザーとフリーマーケット

古本・リサイクル品・リユース品

※内容は変更になることがあります

防犯防災部紹介

「安全な町づくり」を基本に、次の活動を行っていきます。

- 一、防犯関係行事
 - 団地内防災設備見学会開催
 - 板橋区防災訓練参加(下赤塚小学校)
 - 区民防災大学受講
 - ゆり北防災訓練実施(十月または十一月)
 - 応急救護等講習会(来春)
- 二、防犯関係行事

地域懇談会開催

「少年少女(被害者・加害者)の事件防止」

- 夏季夜間パトロール実施
- 年末夜間パトロール実施
- 三、通年活動

ゆりの木北住民防災組織スタート

ゆり北防災マニュアル見直し

防災備蓄品の整備

交通安全対策

(無灯火自転車、迷惑駐車、バイク走行)

防犯強化

(痴漢、空巣、押込強盗)

自治会からのお知らせ

下赤塚地区防災訓練

ぜひご参加下さい

平成一五年八月三十一日(日)

板橋区立下赤塚小学校校庭

集合は一一号棟北側防災倉庫前

午前九時三〇分

訓練内容…

一、初期消火

二、負傷者搬送

三、応急救護

四、仮設トイレ組立

救助物資の配布有ります

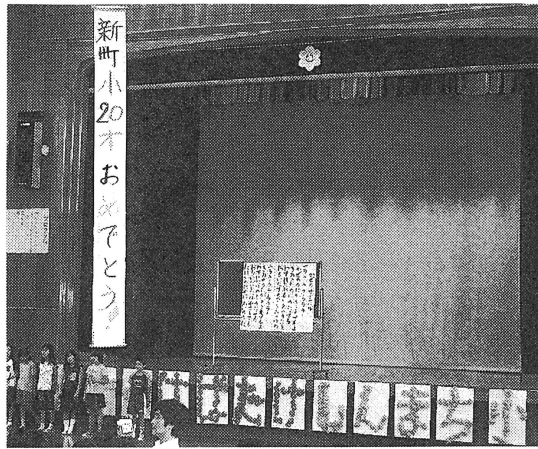
持ち物は帽子、タオルなど

解散は正午頃の予定

新町小誕生日おめでとう

校長 塩谷 通男

本年度第一回目の「学校公開」を六月二六日・二八日に行いました。板橋区では、平成一六年度に、新入学する一年生を対象とした「学校選択制」が実施されます。学校を選択していたくには、新町小がどんな学校であるかを知っていただく必要があります。したがって本校では、



六月と十月の二回学校公開を行い、特色ある学校づくりや取り組みをご覧いただくように計画しました。保護者の皆様はもとより、本校に関心のある方々から学校が選ばれることを願っております。

朝から放課後まで学校生活の全てを見ていただけるようになりました。参観者は延べ五二八人でしたが、多くの皆様方にご参観いただき、子ども達、職員にとって大きな励みとなりました。

公開時の「ハッピーバースデー集会」についてお知らせします。

本校は昭和五八年四月一日開校しました。今年は開校二〇周年となる記念すべき年です。六月二三日は開校記念日です。初代校長の日高先生をお迎えし、開校当時のことを話していただきました。子ども達は大変熱心に話を聞いていました。みんなで歌を歌ったり、ゲームをしたりして、新町小の二〇歳の誕生日をお祝いしました。地域の方の参加もあり大変盛り上がりしました。

二〇周年バザーを終えて

赤塚新町小学校 PTA 鐘ヶ江卓也

六月二二日に開催いたしました。

「二〇周年記念バザー」におきまして近隣にお住まいの皆様にはたいへんお世話になりましたことをお礼申し上げます。

おかげさまでバザー、模擬店とも予定を上回る売り上げを達成し、児童へのプレゼントをはじめとする周年事業に充当させていただきたいと考えております。



赤塚新町小学校は今年、自治会と

ともに二〇周年を迎えます。この地がグラントハイツと呼ばれた頃からその前面に住んでいる者として、一面の野原に団地と小学校が建ち、二〇年の歳月が流れたことに感慨を抱かざるを得ません。

少子化、学校選択性など、子どもと小学校をめぐる環境は二〇年前とはまったく違ってきています。だからこそ、今までのこの小学校が自治会をはじめとする近隣の方々とともに歩んできた以上に、連携の必要性を感じておりますのは私だけではないでしょう。今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、バザーの商品をご提供いただきました方々、準備からご協力いただきましたPTAの役員とボランティアの皆様、当日朝早くからお手伝いいただきましたJAOクラブとJAOOBのメンバーの方々にはこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。

防災設備見学会

六月二八日(土)に、ゆり北自治会の主催により、防災設備見学会が開かれました。当日は、今にも雨が降り出しそうな天気のため、一般参加者が少なく、管理組合理事、自治会役員、世話人等約十数名の参加者でした。

はじめに、塩原会長から防災設備についての説明があり、その後、安倍事務局長の先導により、団地内の防災設備が設置されている現場を見学しました。例えば、非常警報装置が十号棟と一一号棟とは異なっており、この警報装置は消防署とは無関係で、光が丘のCIS(有線情報システムセンター)にのみ繋がっている、係員が検査・確認のためにゆり北に来るまでには、十数分かかります。

身近な意見伺いました 第一回世話人会議開催

去る六月二八日(土)に一二号棟集会所において第一回世話人会議を開催しました。世話人とは、自治会

会員と役員との橋渡し役並びに各号棟の自治活動を行うために、皆様をお願いしています。

会長からは町会関係をはじめとする渉外報告、また当日午後開催した地域懇談会での高島警察からの話などを伝えました。続いて各専門部から今年度上半期の活動について説明し、三三番地問題、ゆりの木夏まつり、二〇周年記念行事について担当



るとの説明がありました。特に注意すべき点は近隣には警報を発するのみで、火事を発見または確認した居住者自身が、消防に一一九番通報しなくてはならないことです。また、団地の火災時には多数の消防自動車がかかるため、違法駐車の問題や、消火栓・採水口の位置に不慣れた隊員に居住者が教える場合も予想されます。そこで、十号棟近くの現物で位置を確認しました。

その他、高層棟特有の連結送水管なども見学しました。

参加者は熱心に質疑応答をしながら、日頃何気なく散策している場所に、いざという時のための重要な設備があることを確認できたのは大変有意義なことでした。

皆様も身の回りの防災設備について再確認することをお勧めします。(防犯防災部)

当役員から報告しました。

また、主な質疑応答は次の通りです。

(質問)世話人の選考方法は、基本的には全員参加の輪番制が望ましく、今の内から次の世話人を考えていて下さい。

(質問)夏まつりのボランティア人数について。

(回答)毎年不足気味で、積極的に協力して下さい。

(質問)商店街広場のカモミールが見苦しいが。

(回答)季節柄たまたまカモミールしかなかったとのことですが、手入れを申し入れます。

(質問)スーパースーパーの道がデコボコですが、何とかありませんか。

(回答)公団との打ち合わせで、修理することになっていますが、未実施なので再度申し入れます。

自治会結成二〇周年記念

第三回 地域とともに 町連等への加入 吉柳俊孝

自治会初期の活動では、様々な要望が寄せられ、区役所や公団との折衝が度々行われました。最初の二年間は基礎固めが必要と、町会連合会(町連)や公団住宅自治会協議会(自治協)への参加は見送っていました。八六年三月に光が丘住民組織連絡協議会(光連協)の結成に参画し、町連・下赤塚支部には八六年度から正式加入(八五年度はオブザーバー出席)、二三区自治協には八六年六月の自治委員会決定で参加しました。町連への参加は、青少年育成・防災・環境などの地域課題への参加でもありました。まだ旧態然とした活動も少なくありませんが、改善に向け発言してきました。

また、地域の福祉面での世話役としての民生委員(児童委員)についても、八六年十二月から二名の方を推薦し、活動していたであります。最近では地域と公立学校と

自治会初期の活動では、様々な要望が寄せられ、区役所や公団との折衝が度々行われ、協議会が設置されるようになりました。赤塚新町小・赤塚三中の協議会にも「ゆり北」のメンバーが推薦されています。

一方、団地の住民の親睦を図るため様々なイベントを企画・実施してきました。その中でも「ゆりの木夏まつり」「ゆり北文化展」は初期の頃から実施され、団地住民だけでなく、むつみ台・赤塚新町などの近隣の方々も参加し、年々盛大になっています。

はじめ、夏まつりは「納涼のつどい」として新町公園で開きましたが、八五年に商店会の後援を受け、八六年からは実行委員会方式を採用になりました。こども実行委員の活躍は当初からでし、リサイクルの他、三三番地のミニキャンプも思い出の一コマです。

は、二回目の八六年から、小野上温泉太鼓は、九三年からの連続出演です。

ゆり北文化展は八三年のクリスマスのつどいから出発、夏まつりと企画が競合しないように、文化面を重視して開こうと八五年から始まりました。五号棟・十二号棟の集会所と十号棟のピロティを会場に行いましたが、九一年から新町小の体育館で行うようになりました。またこれと同時にゴミ・アートとしてワークショップを企画し、現在でも「おばあちゃんの手芸教室」や様々な創作を心がけています。喫茶コーナーやワインコンサートなどの企画も加わり、団地住民の交流に役立っています。